

平成27・28年度総合農学研究センター 業務報告

浅田真一

1. 全施設での概要

平成27・28年度は、北海道弟子屈農場に竣工した美留和晴耕塾での業務が本格的に開始されるとともに、鹿兒島南さつま久志農場でも新たな施設の整備が開始された。学内農場では、実習教育とともに各種の安全講習会の定期的な開催を継続できた。また、従来の大型ボイラーによる施設の集中暖房から、個別の施設ごとの小型暖房機に切り替えることにより、温室暖房に伴う燃料費の大幅な削減を達成した。平成26年の雪害によって倒壊したパイプハウスを平成27年度、平成28年度の2カ年にわたって整備できた。さらに、新たに整備された圃場の土壌改良や周辺環境の整備などにも着手した。全体としてはK-12や他学部との連携も含めた実習教育・研究活動を充実させることができた。弟子屈農場では、平成28年度の複数回にわたる台風による施設内の倒木、木道の破損などの被害があり、今後もこれらの対応が必要となる。その他、放牧地として利用されていた区画にブドウ圃場の整備に着手することができた。南さつま久志農場では、特別予算でバックホーを導入し、久志晴耕塾建設に伴う施設内のパイプハウス等の撤去、今後の栽培施設設置のための圃場整備に取り組んだ。箱根自然観察林では、前年度に引き続き観察林内の整備および補修に取り組むとともに、総務部を中心に敷地境界の確認作業にも着手された。

なお、平成27、28年度に総合農学研究センターで行われた農学部での主な教育活動を表1に示した。生物資源学科、生物環境システム学科で開講されている6科目の実習科目を実施した。この他、学内農場では生命化学科での食品加工実習での農場見学、他学部での利用支援、K-12とのお米の学習などを中心とした連携授業を行った。さらに、農学部の公認団体として活動している園芸班への指導も実施している。

2. 北海道弟子屈農場

金井秀明、大宮正博、南佳典

【平成27年度 春セメスター】

①家畜管理

- ・和牛2頭、ホル雄去勢牛2頭日常管理、朝夕給餌、牛舎掃除、その他管理作業
新導入牛受け入れ 5月26日素牛4頭導入（交雑種4頭）

②生産管理

- ・醸造用ブドウ：栽培管理、誘引、草刈り
- ・飼料作物：採草地元肥施肥（40kg/10a）
- ・ソバ（委託）：電柵下草刈り、ミツバチ巣箱設置

③施設管理・その他作業

- ・農場内：場内除排雪、除雪跡の管理地石拾い、農場内草刈り

表1 農学部での農場実習関連科目

科目名	対象者	セメスター	単位	実施場所
生物資源学科				
フィールド管理実習Ⅰ	1年	秋	2	学内農場
フィールド管理実習Ⅱ	2年	春	2	学内農場
フィールド管理実習Ⅲ	3年	夏期休暇	2	弟子屈農場または久志農場を選択および箱根自然観察林
生物環境システム学科				
生物環境実習Ⅰ	1年	春	1	学内農場
生物環境実習Ⅱ	1年	秋	1	学内農場
生物環境実習Ⅲ	2年	夏期休暇	1	弟子屈農場または久志農場を選択

- ・演習林：林道除排雪、林道見回り、倒木等撤去作業、林道草刈り
- ・鹿柵：点検および補修作業
- ・湿地木道：点検および補修作業
- ・大型農作業機・草刈り機：点検整備および修繕作業等
- ・新ブドウ畑造成工事 6/20～6/30
本学、久志農場より4名
水野宗衛、浅田真一、清川一真、木目田一幸
- ・学内誌「全人」取材 6/22～6/24
出版部 玉居子精宏

④地域貢献

- ・川湯エコミュージアムセンター自然ふれあい行事「釧路川源流部を歩こう」弟子屈農場湿地木道 6/7
参加者19名
- ・弟子屈町教育委員会主催 7/31
小学生「土器発掘体験」弟子屈農場内チャシ跡地
小学生20名スタッフ3名参加



4月はまだ雪の中

⑤教育研究

- ・卒業研究調査
生物環境システム学科4年生 5名 5/13～5/29
(サケ科魚類関係2名、ザリガニ生息環境1名、エゾリス生息環境1名、火山性土壌植生1名)
卒業研究指導：南佳典、吉川朋子
生物資源学科4年生 1名 5/31～6/26、7/14～7/31
(醸造用ブドウ屋根かけ試験1名)



木道補修点検



火山性土壌の植生調査（卒業研究）

⑥主な来場者

学生延べ人数91名利用 教職員延べ45名利用
町民19名 農業試験場2名 改良普及員2名
弟子屈町小学生20名 役場引率（学芸員）3名



自然ふれあい事業、釧路川源流部を歩こう



交雑種4頭導入



小学生対象「土器発掘体験」



醸造用ブドウ栽培管理

【平成27年度 夏期休暇】

①家畜管理

- ・肉用牛8頭朝夕給餌、牛舎掃除等の日常管理

②生産管理

- ・飼料作物（牧草）：乾草調製作業、コンパクトヘイ400個収穫、追肥（20kg/10a）
- ・そば（委託）：収穫 8/31



新ブドウ圃場造成作業

- ・醸造用ブドウ：誘引、除草
- ・ホル去勢肥育牛ケガの為（左後肢骨折）出荷 8/20 格付C-2

③施設管理作業

- ・施設内：除草管理
- ・演習林：見回り、林道草刈り、枝打ち
- ・新ブドウ畑造成作業
緑肥作物エンバク、ストローチョッパーによる粉碎、すき込み

④実習教育支援

- ・生物環境システム学科2年生 生物環境実習Ⅲ
8/2～8/8 学生22名
引率教員：南佳典、吉田沙織
食品加工実習担当：富田信一、馬場正子
- ・生物資源学科3年生 フィールド管理実習Ⅲ
8/18～8/25 学生22名
引率教員：石崎孝之、奥崎文子
- ・生物環境システム学科2年生 生物環境実習Ⅲ
9/3～9/8 学生17名
引率教員：三村真紀子
食品加工実習担当：植田敏允

⑤卒業研究調査支援

- ・生物資源学科4年生 1名 8/5～9/30（11/28まで継続）
- ・生物環境システム学科4年生 5名 8/20～9/14
卒業研究指導：南佳典 8/2～8/8
吉川朋子 9/9～9/13
- ・弟子屈町との共同調査 屈斜路湖の魚類生息調査
9/10 強風のため網設置できず中止

⑥主な来場者

- ・購買部 傅法谷一仁 採蜜作業視察 8/2～8/4
- ・広報課 須藤昇 晴耕塾及び実習撮影 8/18～8/23

- ・ 建築関係 西松建設社長ら4名 美留和晴耕塾視察
8/5
学生延べ人数635名利用
教職員延べ64名利用 卒業生他9名



朝会の体操



夕食前の歌



枝打ち実習



家畜管理、夕方給餌および観察



加工実習事前座学



モッツァレラチーズ制作



新ブドウ圃場造成実習



カヌー体験



サケ科魚類調査（卒業研究）



醸造用ブドウ屋根かけ試験（卒業研究）

醸造用ブドウ 摘葉 糖度調査 出荷 除草 追肥
防草シート交換

・家畜管理

肉用牛8頭朝夕給餌、牛舎掃除等の日常管理

ホル肥育牛出荷 10/8 格付B-2

黒毛和牛2頭出荷 11/25 格付A-4、A-3



肥育牛出荷

③卒業研究調査支援

・生物資源学科 学生1名 10/1～11/28

・生物環境システム学科 学生5名 10/12～11/24

卒業研究指導 南佳典 11/20～11/22

④主な来場者

・視察 道農業研究センター 根元主任研究員（農業
気象）

・美留和晴耕塾1年点検検査および視察 10/11～
10/12

教学部 中村好雄、坂巻早苗

管財部 北川昭一、岩内久敬、細谷清

西松建設 佐藤所長他9名

学生延べ人数145名利用 教職員延べ13名利用

建設業者 視察他20名

【平成27年度 秋セメスター】

①施設管理作業

・施設内：農場内草刈り、演習林見回り、林道草刈り
農業機械：刈り払い機、乗用草刈り機整備収納
テッダー等大型農作業機 整備収納

・農場内除雪、排雪作業 11/24初雪、初除雪

②生産管理

・飼料作物（牧草）：堆肥散布

・醸造用ブドウ：収穫70kg 10/21

（一部卒研調査の為11月中旬まで順次収穫）



11月の思わぬ大雪で除雪デビュー

【平成 27 年度 春期休暇】



秋から一気に冬景色

①家畜管理

- ・肉用牛4頭日常管理、朝夕給餌、牛舎掃除、給水器掃除等

②施設管理作業

施設内：除雪、排雪作業



冬の家畜管理

③弟子屈町との共同研究発表会

- ・平成27年度屈斜路湖周辺の生物相調査及び魚類資源への影響等調査報告会 2/26

出席者 南佳典、吉川朋子 学生6名、
卒業生(昨年の発表者) 3名、現地職員3名
弟子屈町副町長、議会議長、議会議員
環境省保護官、役場関係者など25名

④主な来場者

- ・学生延べ人数20名 教職員6名利用
卒業生他6名



副町長による開会挨拶



共同研究発表会

【平成 27 年度 弟子屈農場総来場者数】

・学生数	871名
・教職員数	128名
・業者、卒業生他	35名
・小学生等施設見学者	39名
・総数	1073名

【平成 27 年度 卒業研究論文課題（弟子屈町との共同研究も含む）】

生物資源学科

- ◎屋根かけ栽培が醸造用ブドウ‘山幸’の品質に及ぼす影響 中澤郁哉（植物機能開発科学領域）

生物環境システム学科

- ◎屈斜路湖流入河川におけるサケ科魚類稚魚の生息環境およびサケ科魚類の産卵調査 下地圭祐（生態系科学領域）
- ◎屈斜路湖流入河川における河畔林がサケ科魚類に与える影響 坂井公紀（生態系科学領域）
- ◎屈斜路湖周辺河川におけるニホンザリガニの分布と環境の関係 湯川翔太（生態系科学領域）
- ◎北海道弟子屈演習林におけるエゾリスの生息環境と

しての林分選択 加藤真柚子（生態系科学領域）
◎北海道東部に位置する第二硫黄山およびボッケにおける火山噴出物が植生に及ぼす影響 野口侑璃奈（生態系科学領域）

【平成 27 年度職員】

技術指導員 金井秀明
嘱託職員 大宮正博
パート勤務 磯里 隆
学内担当 南 佳典

【平成 28 年度 春セメスター】

①家畜管理

- ・交雑種4頭日常管理、朝夕給餌、牛舎掃除、その他管理作業
- ・新導入牛受け入れ 5月17日素牛4頭導入（ホルスタイン種去勢牛4頭）

②生産管理

- ・醸造用ブドウ：栽培管理、誘引、草刈り
- ・飼料作物：採草地元肥施肥（40kg/10a）
- ・ソバ（委託）：電柵下草刈り、ミツバチ巣箱設置 7/19

③施設管理・その他作業

- ・農場内：場内除排雪、除雪跡の管理地石拾い、農場内草刈り
- ・演習林：林道除排雪、林道見回り、倒木等撤去作業、林道草刈り
- ・鹿柵：点検および補修作業
- ・湿地木道：点検および補修作業
- ・大型農作業機・草刈り機：点検整備および修繕作業
- ・新ブドウ畑シカ柵設杭置工事 7/2～7/30
浅田真一、石川晃士、清川一真

④卒業研究調査支援

- ・生物環境システム学科4年生 5名 6/24～6/27
ウチダザリガニ防除法1名、ザリガニ生息環境1名、小動物貯食行動1名、野ネズミの農場侵入1名、タンチョウヅルの美留和生息調査1名
卒業研究指導 吉川朋子、南佳典

⑤主な来場者

- ・視察 5/25 野村貿易2名
- ・視察 牡蠣種苗センター見学 6/28～6/29 農学部 渡邊博之、SAE 小泉嘉一、野村貿易 関根氏
- ・美留和晴耕塾1年点検修理工事 7/5 関係者5名、作業員数名

・打合せ 7/19 工事関係者10名

学生延べ人数16名利用 教職員延べ21名利用
農場見学3名 卒業生1名



4月はまだ雪の中



ホルスタイン種去勢牛導入



ウチダザリガニ生息調査（卒業研究）



ニホンザリガニ生息調査

【平成 28 年度 夏期休暇】

①家畜管理

- ・肉用牛8頭朝夕給餌、牛舎掃除等の日常管理

②生産管理

- ・飼料作物（牧草）：乾草調製作業、コンパクトヘイ 345個収穫 追肥（20kg/10a）
- ・ソバ（委託）：8/31収穫
- ・ソバ残渣片付け ストローチョッパーによる粉碎
- ・醸造用ブドウ：誘引、除草

③施設管理作業

- ・施設内：除草管理
- ・演習林：見回り、林道草刈り、枝打ち
- ・新ブドウ畑造成作業
- ・緑肥作物エンバク、ストローチョッパーによる粉碎、すき込み
- ・台風による倒木被害多数、風倒木の片づけ作業

④実習教育支援

- ・生物環境システム学科2年生 生物環境実習Ⅲ 8/3～8/9 学生24名
引率教員：南佳典、石原茅奈美
食品加工実習担当：植田敏允
- ・生物資源学科3年生 フィールド管理実習Ⅲ 9/13～9/20 学生23名
引率教員：山崎旬、鶴飼麻里
台風の影響により釧網線が不通、釧路空港および女満別空港まで公用車にて学生送迎
- ・生物環境システム学科2年生 生物環境実習Ⅲ 9/1～9/8 学生18名
引率教員：石川晃士
食品加工実習担当：植田敏允
台風の影響により釧網線が不通、釧路空港および女満別空港まで公用車にて学生送迎

⑤卒業研究調査支援

- ・生物環境システム学科4年生 5名 8/8～9/1
卒業研究指導 南佳典 8/3～8/10
吉川朋子 8/17～8/22

台風の影響により釧網線が不通、釧路空港および女満別空港まで公用車にて学生送迎

⑥主な来場者

- ・採蜜作業視察 8/3～8/4 購買部 津山源一郎
- ・カワユエンレイソウ移設の件 8/24 北海道開発局 釧路農業事務所渡辺工事課長ら
- ・視察 8/24 梅沢一彦、OB鈴木氏、教育学部3年生 19名
- ・建築関係
美留和晴耕塾不具合修正 9/19～9/20 西松建設 5名
- ・多目的教室、牛舎屋根塗り替え
塗装業者来場 9月中

学生延べ人数636名利用 教職員延べ68名利用
卒業生他7名



朝会国旗校旗掲揚



農機具の説明



風倒木片付け



新ブドウ畑シカ柵施設実習



台風による風倒木被害



カヌー体験



食品加工実習



9月実習は寒い

【平成 28 年度 秋セメスター】

①施設管理作業

- ・施設内：農場内草刈り、演習林見回り、林道草刈り
- ・農業機械：刈り払い機、乗用草刈り機整備収納
テッダー等大型農作業機 整備収納
- ・農場内除雪、排雪作業 11/24 初雪、初除雪

②生産管理

- ・飼料作物（牧草）：堆肥散布
- ・醸造用ブドウ：収穫60kg 10/17
- ・醸造用ブドウ：摘葉、糖度調査、出荷、除草、追肥、
防草シート交換

③家畜管理

- ・肉用牛8頭朝夕給餌、牛舎掃除等の日常管理
- ・黒毛和牛2頭出荷 9/7 格付C-3、B-2
- ・F1肥育牛2頭出荷 10/12 格付B-3、B-3

④卒業研究調査支援

- ・生物環境システム学科 学生2名 10/25～11/7
- ・生物環境システム学科 学生1名 11/16～11/22
卒業研究指導 南佳典 11/20～11/22

⑤主な来場者

- ・視察 10/15～10/17 卒業生2名

- ・美留和晴耕塾2年点検検査、視察および弟子屈町との連携協定打合せ 11/24～11/25

教学部 中村好雄、総務部 小山豊

管財課 北川昭一、岩内久敬

TOC 折戸晴雄、農学部 浅田真一

西松建設 佐藤所長他17名

- ・リベラルアーツ学科谷本ゼミ合宿

谷本亮、学生16名 12/27～12/29

- ・工事建設関係 晴耕塾玄関前舗装工事

西松建設佐藤所長、青木左官 10/11～10/18

学生延べ人数83名利用 教職員延べ15名利用

建設業者 視察他24名



台風被害復旧前に積雪



肥育牛出荷



谷本ゼミスノーシュー体験



冬景色

【平成28年度 春期休暇】

①家畜管理

- ・肉用牛4頭日常管理、朝夕給餌、牛舎掃除、給水器掃除等

②施設管理作業

- ・施設内：除雪、排雪作業

③弟子屈町との共同研究発表会 2/26

- ・平成28年度屈斜路湖周辺の生物相調査及び魚類資源への影響等調査報告会

出席者 南佳典、吉川朋子、学生5名、

現地職員3名

弟子屈町長、議会議員、議会議員、環境省

保護官、役場関係者など25名

④主な来場者

- ・視察 3/6～3/8 TAPセンター 村井伸二

- ・事前研修 3/11～3/16 横倉啓

- ・学生延べ人数20名 教職員9名利用

卒業生他18名



平成28年度共同研究発表会での吉川教授挨拶



指導教員と卒業研究発表学生

【弟子屈農場総来場者数】

・学生数	755名
・教職員数	101名
・業者、卒業生他	33名
・施設見学者	25名
・総数	914名

【平成28年度 卒業研究論文課題（弟子屈町との共同研究も含む）】

生物環境システム学科

- ◎北海道石狩別川におけるニホンザリガニ *Cambroides japonicus* の食性 大岩輝希（生態系科学領域）
- ◎タンチョウの美留和地区における分布地と今後のメタ個体群成立の検討 徳武由貴（生態系科学領域）
- ◎北海道弟子屈農場美留和演習林におけるミズナラの更新動態および小動物による貯食散布の貢献度 中道はるな（生態系科学領域）
- ◎屈斜路湖におけるウチダザリガニ *Pacifastacus leniusculus* の生態と防除法の検討 藤原拓郎（生態系科学領域）
- ◎北海道弟子屈演習林内の野ネズミ類が農場に侵入する可能性について 柴山東彦（生態系科学領域）

【平成28年度職員】

技術指導員 金井秀明
 嘱託職員 大宮正博
 パート勤務 磯里 隆
 学内担当 南 佳典

3. 鹿児島南さつま久志農場

清川一真、深澤元紀、浅田真一

【平成27年度 春semester】

①生産管理 —カンキツ—

- ・苗木の定植作業、移植作業、ポンカンなどのカンキツ苗を大鉢に移植
- ・施肥、ミカン配合肥料 堆肥
- ・ポンカン・雑柑類の摘果作業、農薬散布、殺虫・殺菌剤、バイオリサカミキリ施用
- ・苗木、幼木の摘蕾作業、間引き剪定



苗木の移植作業



カンキツの開花とハナムグリ

②生産管理 —熱帯果樹、その他作物—

- ・パッションフルーツの管理作業：果実の出荷
一次加工（果肉の冷凍処理）
- ・ヤムイモ定植、支柱、除草作業
- ・サトウキビ芽かき、除草
- ・マンゴー管理作業：ミツバチと天敵の導入、摘葉、花吊り、袋かけ、誘引作業
- ・マンゴー育苗：播種から2年生苗の接ぎ木
- ・アボカド育苗：接ぎ木
- ・ハウスへ有機物マルチとしてわらを敷く（天敵の生息場所確保、土壌改良のため）
- ・パッションフルーツ挿し木苗作り
- ・ブルーベリーの定植：ピートモスを施用



マンゴー果実の日焼け対策



ブルーベリー植え付けのためにピートモスを施用



収穫前のマンゴー結実状況



熱帯果樹ハウスにわらを敷く作業



パッションフルーツの収穫

③施設管理、その他作業

- ・作業道路作成：外周道路の再整備及び再生材による簡易舗装
- ・圃場整備：旧大西園をポンカン園に整備
- ・雑柑圃場の整備と改植準備
- ・園内全体の雑草管理、刈払機、ハンマーナイフ、除草剤
- ・圃場の排水対策：暗渠パイプの埋設 明渠の造成
- ・法面の浸食対策としてわら芝の施工
- ・台風対策：ハウス補強、苗木の補強
- ・宿泊用の布団管理
- ・鶏舎の改修
- ・洗濯物干場の設置



販売用パッションフルーツの発送



園内作業道路の造成



鶏小屋の運動場



旧大西園をポンカン畑にするための造成作業



洗濯物干場の設置



園内の排水対策



法面の崩落対策としてわら芝を施工

④地域貢献

- ・坊津学園小学校6年生 熱帯果樹の授粉から収穫までを体験（5月～9月 計4回）

⑤卒業研究支援

- ・生物資源学科1名 4月～9月
パッションフルーツの研究

⑥主な来場者

- ・生物自然研究部 夏合宿の下見5/7～5/9 学生3名
- ・視察 5/23 弟子屈町長、町議会議長、日置市議



熱帯果樹の見学（坊津学園）



パッションフルーツの授粉（坊津学園）

【平成 27 年度 夏期休暇】

①生産管理 —カンキツ—

- ・苗木の定植準備：植穴を掘り、堆肥、ヨウリンを施用して、埋め戻す
- ・摘果作業：夏枝剪定、チップーシュレッダーで粉碎
- ・苗木に対して農薬の高濃度散布
- ・カンキツ摘果作業



カンキツ苗木の定植準備



カンキツの摘果作業

②生産管理 —熱帯果樹、その他作物—

- ・パッションフルーツ収穫、発送、剪定、挿し木苗増殖
- ・マンゴー玉吊り作業、収穫、発送、剪定、マシン油散布
- ・ヤムイモ台風対策、雑草管理
- ・ライチ取り木苗鉢上げ
- ・ドライマンゴーの試作
- ・熱帯果樹の剪定作業



パッションフルーツ挿し木苗の調整



ライチ取り木苗の調整作業

③施設管理、その他作業

- ・園内全体の草刈り、雑草管理、ハンマーナイフモア、除草剤散布、草刈り機、手除草
- ・雑木伐採作業：チップーシュレッダーで粉碎、太い枝は炭焼き用に切断
- ・台風対策：苗木の移動、ハウスの補強
- ・台風後の片づけ：壊れたハウスの解体作業、倒木の伐採など



ハウスの解体作業



海の生物観察



台風で飛ばされた洗濯物干場の屋根

⑤卒業研究調査支援

- ・生物資源学科 学生1名
- ・生物環境システム学科 学生2名

⑥地域貢献

- ・坊津学園小学校6年生 熱帯果樹の授粉から収穫までを体験（5月～9月計4回）
- ・パッションフルーツ果汁を使ったグミ作り体験
9/25

④実習教育支援

- ・生物環境システム学科2年生 生物環境実習Ⅲ 8/3～8/9 学生22名
引率担当：浅田真一、石原茅奈美
- ・生物資源学科3年生 フィールド管理実習Ⅲ実習 8/18-25 学生13名
引率担当：山崎旬、宮崎智史
- ・生物環境システム学科2年生 生物環境実習Ⅲ 9/2～9/8 学生18名
引率担当：関川清広



ミョウガの花の観察



カンキツの施肥実習



パッションフルーツ果汁で作ったグミ

⑦主な来場者

- ・山ミカンの採取 8/10 鹿児島大学大学院 農学研究科 名取裕太
- ・教育学部教員 FD研修 農場見学 8/17
- ・生物自然研究部合宿 8/27-31
- ・視察 入試広報課 池田真由美 9/12

【平成 27 年度 秋セメスター】

①生産管理—カンキツ—

- ・夏枝剪定：チップパーにて粉碎、堆肥化
- ・農薬散布：殺虫剤、貯蔵病害対策の殺菌剤
- ・ゴマダラカミキリ駆除
- ・ボンカン仕上摘果
- ・大里ボンカン収穫：選果作業、化粧箱作り 270箱
- ・久志農場ボンカン収穫：選果作業



大里ボンカンの収穫



ボンカンの選果作業

②生産管理—熱帯果樹・その他農作物—

- ・パッションフルーツ剪定：誘引作業、挿し木苗生産
- ・マンゴー・その他熱帯果樹の剪定作業：GS酵素、竹酢液散布
- ・苗木の鉢増し作業：小さな鉢から大きな鉢へ移植
- ・ヤムイモの収穫作業



マンゴー苗木の管理作業



ヤムイモの収穫

③施設管理・その他作業

- ・園内全体の草刈り、カンキツ園全体へ除草剤散布
- ・イヌマキ、その他防風垣刈込作業、枝は堆肥化
- ・作業道路補修：園内舗装道路の補修
- ・旧ライチ・パッションハウスの解体
- ・雑木伐採作業：伐採木を炭焼き
- ・防風ネット設置作業
- ・ハウスの解体作業



園内道路の補修作業



碎石を敷きモルタルで固定



久志農場に生息するカニの調査



古いハウスの解体作業



富士保育園園児のポンカン収穫体験



防風垣のイヌマキ刈り込み



伐採木を利用した炭焼き体験

④地域貢献

- ・ふじ保育園（枕崎市）のポンカン収穫体験 12/16

⑤主な来場者

- ・打合せ 10/6 生産加工室 馬場直子
- ・卒業研究 11/10～11/19 吉川朋子 他学生1名
- ・視察 11/27 南九州大学 山口教授
- ・ポンカン収穫作業など 12/22-26
水野宗衛 他生物資源学科学学生5名
浅田真一、井上広大、上治正美、山路利英

【平成 27 年度 春期休暇】

①生産管理—カンキツ—

- ・公用ポンカン（大里ポンカン）箱詰め、発送作業
260箱
- ・雑柑収穫作業
- ・ポンカン・雑柑剪定、カルスメイト塗布、更新木の伐採
- ・規格外ポンカン搾汁 約1t 100kgほど搾汁
- ・ポンカン・雑柑を生産加工室へ発送
- ・カンキツ 接ぎ木作業
- ・ポンカン、中晩柑、温州ミカン苗木定植



公用ポンカン箱詰め作業



温州ミカン苗の植え付け作業



久志農場の規格外ポンカンの搾汁作業



ポンカン苗木の風対策と保温



ポンカン古木の伐採作業

- ②生産管理—熱帯果樹・その他農作物—
- ・通常管理作業：ハウスの灌水、摘葉、除草など
 - ・マンゴー、アボカド苗の接ぎ木
 - ・ビワ、スモモ、クリなどの苗木定植



タンカンの収穫作業（清川果樹園）



マンゴーハウスのビニール張替え



ビワ苗木の定植



伐採したポンカン樹を木炭に



ツワブキの皮むき作業



ツワブキの荷姿

④主な来場者

- ・施設打ち合わせ 1/18～1/20 管財課、西松建設
- ・敷地の確認作業 1/22 南さつま市財産管理課
- ・打合せ 2/8 出版部 斉藤浩一、白井利典
- ・設備確認 2/15 西松建設 NTT 九州電力
- ・有志学生研修 2/22～2/26 生産加工室学生9名
- ・施設打ち合わせ 3/15 小野正人、浅田真一、西松建設ら
- ・熱帯果樹穂木交換 3/25 鹿児島大学指宿植物試験場 勘米良祥多氏



軽トラックのあおり修理（溶接）

③施設管理・その他作業

- ・雑木伐採作業：剪定枝の片づけ、小枝は粉碎
- ・スプリンクラーパイプの撤去作業
- ・ポンカン園に防風ネットの設置
- ・圃場内整備：石の撤去作業
- ・軽トラック荷台の修理



ポンカンに防風ネットを設置



鶏舎の改修



天然きくらげの採取



スプリンクラー用のパイプの片づけ



鶏の解体



圃場内の石の撤去作業



風間農園でタンカンの収穫



イノシシの解体

【平成 27 年度 卒業研究論文課題】

生物資源学科

- ◎南さつま久志農場におけるパッションフルーツの誘引方法が果実品質に及ぼす影響 赤星和貴（植物機能開発領域）

生物環境システム学科

- ◎鹿児島県南さつま久志農場における陸ガニの生息分布と植生への影響 岡村早織（生態系科学領域）
- ◎鹿児島県南さつま市におけるフジツボ類に対する波当たりの影響 吉田幸子（生態系科学領域）

【平成 27 年度職員】

技術指導員 清川一真
技術指導員 深澤元紀
パート勤務 織田ヒロ子
パート勤務 塩屋みすえ
パート勤務 風間大地
学内担当 浅田真一

【平成 28 年度 春 Semester】

①生産管理 —カンキツ—

- ・農薬散布：殺虫・菌剤、バイオリサカミキリを使用
- ・苗木、幼木の管理作業：摘蕾・摘果作業
- ・幼木の株回りに木材チップ等を施用



カンキツへの農薬散布



幼木の摘蕾作業



幼木周りにウッドチップ敷く



カンキツ樹のカミキリムシ対策

②生産管理 —熱帯果樹、その他作物—

- ・マンゴー管理作業：ミツバチと天敵の導入、摘蕾、花吊り、摘果、誘引作業など
- ・マンゴーの植え替え作業：根域制限栽培にするため、植え替え作業
- ・パッションフルーツの管理作業：蔓の誘引、受粉、整枝剪定作業など
- ・アボカド、ライチ、リュウガン、パッションフルーツなどを露地圃場に定植
- ・マンゴー、アボカドなどの苗木の接ぎ木作業
- ・ヤムイモ、ゴマなどの定植、雑草管理



マンゴーの伐根作業



防根シートを埋設し、マンゴーの植え替え



マンゴーの逆さ吊り着色試験



全体が着色した果実



リュウガン大苗の定植



マンゴー接ぎ木苗の生産

③施設管理・その他作業

- ・育苗用ネットハウスの建設 足場用の単管パイプと防風ネットを用いて
- ・パッションフルーツハウスと旧育苗ハウスの解体 久志晴耕塾建設の為
- ・ライチ古木の伐採 久志晴耕塾建設の為
- ・水田の整備、古代米の栽培
- ・雑草管理：刈払機、ハンマーナイフモアによる草刈り、除草剤散布
- ・圃場整備：園内の石の除去作業
- ・イヌマキ害虫（キオビエダシヤク）の防除：トレボンを散布



パッションフルーツハウスの解体作業



圃場内の石の除去作業



ミニ水田の造成



マンゴーの花の観察



古代米の苗を田植え



タケノコの真空包装作業を体験

④地域貢献

- ・坊津学園小学校6年生 熱帯果樹の開花から収穫までを体験15名 5/10、7/11
- ・坊津学園中学校3年生 職場体験学習 1名 5/30～6/3



古代米の手植え作業を体験



完熟パパイアの収穫体験

⑤主な来場者

- ・新施設建設の打合わせ6/6～6/7 小野正人、管財課
- ・熱帯果樹の勉強会 6/23 鹿児島県農業試験場研究員、肝付町職員

【平成28年度 夏期休暇】

①生産管理 —カンキツ—

- ・農薬散布：殺菌剤、殺虫剤、台風後の殺菌剤散布
- ・枯れ枝剪定
- ・幼木、苗木に対しての早期摘果作業、干ばつ時には

灌水、乾燥防止のため敷き藁

- ・夏枝の剪定作業
- ・幼木に対しての台風対策



幼木に乾燥防止のため敷き藁



幼木に対しての台風対策

②生産管理 —熱帯果樹、その他作物—

- ・ビニールハウスへ遮光塗料の吹き付け塗装
- ・マンゴー、パッションフルーツの収穫、発送作業
- ・ヤムイモ、ゴマなどの雑草管理



ゴマの収穫作業



ゴマの選別作業

③施設管理

- ・雑草管理：除草剤の散布
- ・サトウキビ畑の造成 旧圃場が機械作業棟の建設地になったため、新たに造成
- ・新パッションフルーツハウス建設の為の圃場整備開始 旧ハウス解体、土砂の運搬
- ・小原國芳生誕記念公園の管理：イヌマキ害虫の駆除 イヌマキの伐採作業
- ・台風対策と台風後の片付け
- ・小原國芳生誕記念公園のオオスズメバチ対策



ハウス建設のための圃場整備



旧ハウスを解体し、資材を片付け



台風で破損した防風ネット



台風で破けたハウスフィルム



生誕記念公園のオオスズメバチ対策



捕獲したオオスズメバチ

④実習教育支援

- ・生物環境システム学科2年生 生物環境実習Ⅲ
7/31～8/6 学生25名
引率教員：浅田真一、川島実佳
- ・生物環境システム学科2年生 生物環境実習Ⅲ 9/2
～9/8 学生16名
引率教員：高崎宏寿
- ・生物資源学科3年生 フィールド管理実習Ⅲ実習
9/13～9/20 学生8名
引率教員：飛田有支、和田瞳



ライチの取り木



サトウキビの搾汁



パッションフルーツ挿し木用の穂木を採取



露地栽培マンゴーの収穫作業

⑤地域貢献

- ・坊津学園小学校6年生 マンゴーの食味試験とその他果物の糖度の調査



マンゴーの収穫



マンゴー、その他果実の糖度測定

⑥主な来場者

- ・視察 8/5 玉川学園中学部教員 1名
- ・視察 8/9 玉川学園中学部教員 5名
- ・視察 8/24 JA南さつま 川辺支部の果樹農家
- ・見学 8/26 玉川大学少林寺拳法部 坊津で合宿中に農場見学

【平成28年度 秋セメスター】

①生産管理 —カンキツ—

- ・ポンカン、中晩柑の摘果作業
- ・夏枝剪定 剪定枝はチップーシュレッダーで粉碎
- ・摘果ポンカンを生産加工室へ発送
- ・ポンカンの農薬散布（貯蔵病害対策）、収穫作業 12/25～26



11/1のポンカン果実



11/30のポンカン果実



12/26収穫時のポンカン果実



ヤムイモの収穫



ポンカンの収穫作業

③施設管理・その他作業

- ・草刈り（刈払機・ハンマーナイフモア）除草剤散布（ラウンドアップ）
- ・イヌマキ（防風垣）の管理作業 補植、刈込、剪定作業
- ・雑木伐採、チップーシュレッダーで粉碎
- ・果実貯蔵庫から果実加工棟への引越し作業
- ・イノシシ対策
- ・パッションフルーツハウス建設のための造成作業

②生産管理 —熱帯果樹・その他農作物—

- ・マンゴーの伐根、植え替え作業
- ・マンゴー、その他熱帯果樹の剪定作業
- ・マンゴーハウス内へ有機質マルチとして藁を敷く
- ・短系自然薯の収穫 収穫祭用に発送
- ・ヤムイモの収穫作業



パッションフルーツハウス脇の排水路の掘削



短系自然薯の収穫



有害鳥獣駆除（イノシシ）



イヌマキの移植（補植）作業



熱帯果樹についての説明



イヌマキの刈込

④地域貢献

- ・坊津学園小学校5年生 職場見学 11/24



農場の説明

⑤主な来場訪者

- ・打合せ 10/9 水野宗衛、小原廣幸
- ・久志晴耕塾安全祈願祭 10/14～10/15
小原学長他、各部署教職員、西松建設、関係機関
38名
- ・視察 11/19 玉川学園中学部教員2名、トップツ
アー安達氏
- ・通信テスト 11/24～11/25 管財課 大西美都子、
TES 石井大輔



久志晴耕塾建設のための安全祈願祭



完成した果実貯蔵庫

【平成 28 年度 春休休暇】

①生産管理 —カンキツ—

- ・ポンカンの選果作業 シャーベット原料として発送
- ・ポンカンの搾汁作業 冷凍果汁の製造、皮の冷凍処理（精油抽出用）
- ・中晩柑の袋かけ（鳥害、霜害対策）中晩柑の収穫
- ・ポンカン古木の伐採 苗木への更新
- ・幼木周りの草取り（地温上昇）あんどん囲い（風除け・保温）
- ・ミカン配合肥料の散布
- ・カンキツ苗に接ぎ木、枝を確保するために、ポンカン成木への高接ぎ



ポンカンの選果作業



中晩柑果実に袋かけ



ポンカン幼木の除草



ポンカン幼木にあんどん囲い

②生産管理 —熱帯果樹・その他作物—

- ・ハウス内の灌水、雑草管理作業
- ・アボカド、マンゴー苗の接ぎ木
- ・緑竹の移植作業
- ・マンゴーハウスへマシン油を散布
- ・アボカドの定植（露地圃場）



移植した緑竹



アボカドの定植

③施設管理・その他作業

- ・パッションハウス建設地の造成、岩のはつり作業、土の運搬、排水対策、防風ネット用支柱
- ・ポンカン園の圃場整備
- ・防風樹として利用する苗を採取、畑に仮植え（ヒサカキ、ハマヒサカキ、イヌマキ）
- ・ミニ水田の埋め戻し作業
- ・マンゴーハウス水道配管工事、天窓換気の修理



パッションハウス建設地に土を運搬



油圧ブレイカーで岩盤を砕き、圃場を拡張



水田の埋め戻し



圃場整備を行った雑柑園



マンゴーハウスへの水道配管工事



圃場整備を行ったポンカン園

④ 主な来場者

- ・南さつま市の観光振興打合せ 1/26 折戸春雄
- ・視察 2/18 玉川学園高等部 森研堂、今井航
- ・見学 2/27 トップツアー 安達氏
- ・熱帯果樹の見学 3/22 (株)キューサイ 森山氏
- ・ヤマザクラの採集 3/26 森林総合研究所 勝木氏
- ・道路工事打合せ 3/29 管財課 植本晋也、南さつま市



2/1の久志晴耕塾の様子 基礎の配筋作業



栽培作物用のマルチ張り



3月下旬、一回の床面が完成し2階への柱を建設中



各班の作物の管理作業

【平成 28 年度 卒業研究の調査支援】

なし

【平成 28 年度職員】

- 技術指導員 清川一真
- 技術指導員 深澤元紀
- パート勤務 織田ヒロ子
- パート勤務 塩屋みすえ
- パート勤務 風間大地
- 学内担当 浅田真一



花壇苗の鉢上げ

4. 学内農場

井上広大、山路利英、有山浩司、飛田有支

【平成 27 年度 春semester】

①生物資源学科2年生「フィールド管理実習Ⅱ」

(1、2、3、4限)

- ・スイカ、メロンなどの果菜類、エダマメなどの豆類、花壇用苗を栽培
- ・「刈り払い機安全衛生講習」を受講し、実習中2回刈り払い機を使用



収穫した作物を使用した加工実習



加工品の試食



イネの播種



栽培した作物の品評会



田植え

②生物環境システム学科1年

「生物環境実習Ⅰ」(1、2、3限)

- ・実習を通してミニトマトとイネを栽培
- ・実習圃場周辺の動植物を調査
- ・箱根自然観察林内の調査、観察



ミニトマトの残渣を堆肥化



各自の区画に肥料を散布



水田の雑草調査

③ K-12との連携プログラム

「ジャガイモの栽培、収穫体験」(幼稚園)



幼稚園の先生が定植の仕方を説明



目印のところに種イモを置く



ジャガイモの収穫

④ K-12との連携プログラム「お米の学習」

(低学年2年生)

・種モミの播種、代掻き(田遊び)、田植え



お米の播種の説明



田植えの説明



苗を分けてもらう



大学生に教えてもらいながら田植え

⑤園芸班の活動

- ・タマネギ、ジャガイモの定植、収穫、仕分け作業
- ・花壇用苗の播種、定植
- ・大グラウンド下の歩道の整備



ジャガイモの畑づくり



タマネギの仕分け



花壇用花苗の播種



大グラウンド下の歩道脇に花の定植

⑥その他、生産・施設管理

- ・施設内：草刈り機での管理、除草剤散布
- ・全国大学附属農場協議会春季全国協議会、教育シンポジウム 5/21～5/22
開催場所：学士会館、日本学術会議
出席者：浅田真一、有山浩司、井上広大、山路利英
- ・農場見学授業 6/23 乳幼児発達学科 河合光利他学生

【平成 27 年度 夏期休暇】

①園芸班の活動

- ・収穫祭に向けたニンジン、ダイコン、ゴボウなど秋野菜の播種
- ・秋～冬、来春用の花壇用苗の播種



畑の測量



ダイコンのマルチ張り



ドローンの飛行実演



コスモスの播種

- ・ 関東・甲信越地域大学農場協議会総会研究集会
8/6～8/7 開催校：山梨大学
出席者：有山浩司、井上広大



山梨大学のブドウ園場見学

②その他、生産・施設管理

- ・ 施設内：草刈り管理、除草剤散布
- ・ 関東・甲信越地域大学農場協議会技術研修会
7/23～7/24 開催校：東京大学
出席者：有山浩司、井上広大



北海道演習林からの中継授業



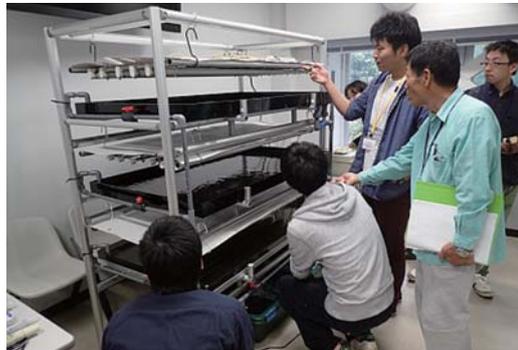
サントリー登美の丘ワイナリー見学

- ・全国大学附属農場協議会秋季全国協議会
8/27～8/28 開催校：石川県立大学
出席者：井上広大、山路利英



総会

- ・日本養液栽培研究会主催 第20回
研修会（実用技術編） 9/16～9/18
開催校：千葉大学 出席者：井上広大



養液栽培装置内の流量の測定



砂丘地農業研究センターの見学



未知の培養液の測定

- ・第19回養液栽培研修会
「養液栽培夏の学校2015」 8/31～9/1
開催校：京都府立大学 出席者：井上広大



養液栽培に関する講義

【平成27年度 秋semester】

①生物資源学科1年生

「フィールド管理実習Ⅰ」（1、2、3、4限）

- ・カブ、ダイコンなどの根菜類、ハクサイなどの葉菜類の栽培
- ・農具や耕耘機の使用方法の習得
- ・栽培した作物の加工実習



露地栽培用の区画に肥料を混ぜる



プランターに肥料を混ぜる



各人の区画の管理、調査



耕耘機の実習

②生物環境システム学科1年

「生物環境実習Ⅱ」(1、2、3限)

- ・1、2年生作物班、永年生作物班、応用動物班の3班に分かれて専門的な実習
- ・「生物環境実習Ⅰ」から続くイネの露地栽培用の区画に肥料を混ぜる栽培(稲刈り、脱穀、精米)
- ・里山管理実習
- ・箱根自然観察林内での環境調査実習



花の種子を播種



1・2年生作物班の中間報告



稲刈り



実習内容のプレゼンテーション

③ K-12との連携プログラム

「キウイフルーツの収穫体験」(幼稚園)

- ・幼稚園の年少から年長までの全員でキウイフルーツの収穫体験(幼稚園の先生、農場教職員、大学生による補助)



キウイフルーツ園に駆け登る



大学生に補助してもらい収穫

・餅つき

(父母委員、低学年の先生、農場・生産加工室教職員、大学生による補助)



大学生に補助してもらい稲刈り



刈り取ったイネの束を受け取る



脱穀機で脱穀

④ K-12との連携プログラム

「お米の学習」低学年(2年生)

- ・稲刈り、脱穀、精米
(低学年の先生、農場教職員、大学生による補助)



粳摺りの見学



サツマイモの収穫



大学生に補助してもらい餅つき



コスモスの定植



ついた餅の試食



模擬店用の看板作製

⑤園芸班の活動

- ・収穫祭に向けた野菜の栽培、収穫
- ・学内装飾用のプランターへの定植、設置作業
- ・収穫祭模擬店、展示の準備



ポスター展示の部屋の装飾

⑥その他、生産・施設管理

- ・学術研究所 村井伸二 野外教育実習
- ・「保育内容総論」泥ダンゴ作り 10/6
乳幼児発達学科 大豆生田啓友 他学生



農場で泥ダンゴ作り

- ・農場見学授業 11/17乳幼児発達学科
河合光利他学生
- ・農業技術検定 学内団体受検支援 12/12
2級受検者 50名

【平成 27 年度 春期休暇】

①その他、生産・施設管理

- ・施設内:次年度の圃場の準備 (プラウ、ロータリー)
- ・ハウス内エルフィン管の撤去、ミストハウス周辺の整備 (学生アルバイト)
- ・小型車両系建設機械特別教育講習会
学内農場 3/21~3/22 59名
- ・刈り払い機安全衛生講習会
学内農場 3/23、3/24 生物資源学科2年生 他
- ・関東・甲信越地域大学農場協議会
役員会 3/24 開催校: 日本大学
出席者: 浅田真一

【平成 27 年度職員】

- 技術指導員 有山浩司
- 技術指導員 井上廣大
- 技術指導員 山路利英
- 担当 飛田有支

【平成 28 年度 春 semester】

①生物資源学科2年生

- 「フィールド管理実習Ⅱ」(1、2、3、4限)
- ・ナス、トマトなどの果菜類、エダマメなどの豆類、

花壇用苗などの栽培

- ・刈り払い機を使用した周辺圃場の管理実習



各自の作物を管理



各班に分かれて実習



ジャガイモの収穫



栽培した作物の加工実習



水田周辺の環境調査



品評会



代かき

②生物環境システム学科1年生

「生物環境実習Ⅰ」（曜日1、2、3限）

- ・ミニトマトとイネの栽培
- ・農作業での基本的な農具の使い方や管理作業
- ・実習圃場周辺の環境調査
- ・箱根自然観察林内での観察



ミニトマトの最終調査



鎌を使用した除草

③K-12との連携プログラム

「ジャガイモの栽培、収穫体験」（幼稚部）

- ・種イモの定植と収穫



圃場まで先生と歩いてくる



種イモを植え付ける

④ K-12との連携プログラム

「桜の学習」(低学年 1年生)

- ・学内農場にてオオシマザクラとカンザンの違いについて解説
- ・オオシマザクラの葉の加工について解説
- ・オオシマザクラの葉の採集と仕分け
- ・採集した葉を各クラスで塩漬けにする



2種類のサクラの解説

⑤ K-12との連携プログラム

「稲作の学習」(5年生)

- ・種籾の播種
- ・代掻きの前段階としての田遊び(2年生)
- ・田植え
- ・水田周辺の生き物調べ、ザリガニ釣り



大学生による塩水選の説明



種籾の播種



田遊び(2年生)



田植えの説明



プランターに定植



大学生に教えてもらいながら田植え



コムギの刈り取り

⑥園芸班の活動

- ・新入生ガイダンスでのスピーチ
- ・花壇用苗をプランターに定植、設置
- ・コムギの刈り取り、脱穀



新入生ガイダンスでのスピーチ



脱穀したコムギを乾燥させる

⑦その他、生産・施設管理

- ・施設内：草刈り管理、除草剤散布
- ・全国大学附属農場協議会春季協議会
5/12～5/13 開催場所：学生会館
出席者：浅田真一、有山浩司、
井上広大、山路利英
- ・農場見学授業 6/28 乳幼児発達学科 河合利光他
学生
- ・農業技術検定 学内団体受検支援 7/16
2級受検者 65名

【平成 28 年度 夏期休暇】

①園芸班の活動

- ・大グラウンド歩道脇に花の定植
- ・オープンキャンパス用鉢花の鉢上げ、配布
- ・収穫したコムギを使ったうどんの試作
- ・収穫祭に向けた秋野菜、花の播種



大グラウンド下の歩道脇に花の定植



オープンキャンパス用花の鉢上げ



学内産コムギを使用したうどんの試作



オープンキャンパスでの鉢花の配布

②その他、生産・施設管理

- ・施設内：草刈り管理、除草剤散布
- ・関東・甲信越地域大学農場協議会総会、研究集会
8/4～8/5 開催場所：日本大学 出席者：井上広大



バラ農家見学



石田牧場の堆肥舎見学

- ・関東・甲信越地域大学農場協議会技術研修会
8/29～8/30 開催場所：信州大学農学部
出席者：有山浩司、山路利英



ワイナリーの見学



ガイダンス

- ・全国大学附属農場協議会秋季協議会
9/6～9/8 開催校：香川大学
出席者：浅田真一、有山浩司、井上広大



総会



栽培する区画に肥料を散布



耕耘機の実習



香川県農業試験場の見学



栽培した作物で肉まん作り

【平成28年度 秋 Semester・春期休暇】

①生物資源学科1年生

- 「フィールド管理実習Ⅰ」(1、2、3、4限)
- ・秋、冬用野菜を露地、プランターで栽培
 - ・農具や耕耘機の基本的な使用方法
 - ・栽培した作物を使用した加工実習

②生物環境システム学科1年生

「生物環境実習Ⅱ」(1、2、3限)

- ・1・2年生作物班、永年生作物班の2班に分かれて専門の実習
- ・イネの栽培(稲刈り、脱穀、精米、試食)
- ・里山管理の実習
- ・箱根自然観察林内での基礎的な環境調査の実習



1・2年生作物班の畑作り



脱穀



モチをこねる

③K-12との連携プログラム

「キウイフルーツの収穫体験」(幼稚部)

- ・幼稚部の年少から年長までの全員でキウイフルーツの収穫体験
(幼稚部の先生や農場の職員、大学生による補助)



大学生に手伝ってもらい収穫



袋いっぱいにして持ち帰り

④K-12との連携プログラム

「ダイコンの収穫」(幼稚部)

- ・ダイコンの栽培と収穫



先生と協力して収穫



父母委員と協力して収穫



稲刈りの説明

⑤ K-12との連携プログラム
「日本の文化を知る」(2年生)



学内農場での餅つき体験



大学生に教えてもらいながら稲刈り



伸餅作り



大学生に補助してもらい刈った穂を結ぶ

⑥ K-12との連携プログラム
「稲作の学習」(5年生)
・稲刈り、脱穀、精米をする
・農場めぐり



脱穀機で脱穀



精米の見学



切り花用コスモスの定植

⑦園芸班の活動

- ・収穫祭に向けて秋、冬野菜の栽培
- ・収穫祭、学内装飾用の花壇苗の栽培と設置



ヤマイモの収穫



収穫祭でのポスター展示



ニンジンの選別

⑧その他、生産・施設管理

- ・農場見学と野外教育実習 学術研究所 村井伸二
- ・「保育内容総論」泥ダンゴ作り
乳幼児発達学科 大豆生田啓友
- ・農場見学授業 乳幼児発達学科 河合利光
- ・農業技術検定 学内団体受検支援 12/10
1級受検者 4名 2級受検者 40名
- ・刈り払い機安全衛生講習会
学内農場 3/21、22日 生物資源学科2年生 他
- ・大径木伐木等特別教育
学内農場 3/23～24日 18名

【平成 28 年度職員】

- 技術指導員 有山浩司
- 技術指導員 井上廣大
- 技術指導員 山路利英
- 担当 飛田有支

5. 箱根自然観察林

山崎 旬

【平成 27 年度 春セメスター】

①実習

・生物環境システム学科1年

「生物環境実習Ⅰ（必修）」 4/18

5班編成で箱根自然観察林内を教員が誘導しながら歩き、植生や地形について解説。学生は指定された定点で基礎的な環境調査



ガイダンス（生物環境実習Ⅰ）



林内での観察（生物環境実習Ⅰ）

・生物環境システム学科生態系科学領域3年

領域実習A 4/16～4/17 学生24名

参加人数は24名。自然観察林内および須雲川、椿沢において観察実習。



須雲川沿いでの観察



ハコネサンショウウオの観察

・文化会生物自然研究部「観察会」 5/9 学生6名

引率教諭：浅田真一

生物自然研究部員の参加のもと、須雲川沿い、椿沢沿いにわかれて生物観察。

【平成 27 年度 夏期休暇】

・農学部有志による林と林道の整備 9/4～9/7

生物資源学科植物機能開発領域3・4年生の有志学生（16名）、園芸班有志学生（生物資源学科2年2名）

引率教員：水野宗衛、山崎旬、井上広大、山路利英、和田瞳



ヒノキ林内の階段敷設



林道のマーク設置

【平成 27 年度 秋セメスター】

- ・生物環境システム学科1年 生物環境実習Ⅱ 10/2
5班編成で箱根自然観察林内のいくつかの林道を5班体制のグループ毎に歩き、地形・植生を記録。教員は学生がコースを外れないよう、定点で待機。

【平成 27 年度 卒業研究論文課題】

生物環境システム学科

- ◎箱根演習林内須雲川における攪乱が群落に及ぼす影響
川島実佳（生態系科学領域）
- ◎箱根演習林におけるニホンジカによる樹木被害の特徴
熊坂 悠（生態系科学領域）
- ◎玉川大学箱根演習林須雲川周辺河畔林における微地形の違いと土壤動物相
久松大樹（生態系科学領域）
- ◎箱根演習林内を流れる須雲川における底生動物相の季節変化
渡邊智純（生態系科学領域）

【平成 27 年度職員】

担当 山崎 旬

【平成 28 年度 春セメスター】

- ・東京電力送電鉄塔建て替え工事後の森林修復のための樹木植栽打ち合わせ（現地立ち会い）4/13
農学部 山崎旬、管財課 橋本晋也
東京電力側数名



鉄塔工事後の植栽打ち合わせ

- ・生物環境システム学科1年 生物環境実習Ⅰ 4/23
箱根自然観察林内の椿沢道～弁天尾根に上がり、須雲川に下るルートで、教員が誘導しながら、植生や地形を解説。
- ・生物資源学科4年 フィールド管理実習Ⅲ 4/22～4/24 学生35名
引率教員：山崎旬、石崎孝之、奥崎文子
ヒノキ造林地の剥皮間伐、須雲塾周辺の植栽樹および雑木の剪定と除伐、標高差による樹木相の変化の見学等を行った。
- ・神奈川県立生命の星・地球博物館
「神奈川県植物誌改訂に伴う植物分布調査」 5/14



弁天尾根標高800m付近（フィールド管理実習Ⅲ）

大西 亘 氏 他10名
同行：山崎 旬、三村真紀子

【平成 28 年度 夏期休暇】

- ・生物自然研究部 観察会 8/14 5名
引率教員：浅田真一
- ・農学部有志による林と林道の整備 9/2～9/5
生物資源学科植物機能開発領域3・4年生の有志学生（19名）、園芸班有志学生（生物資源学科、生命化学科2年5名）
引率教員：水野宗衛、山崎旬、井上広大、山路利英、鶴飼麻里、和田瞳、船津聖士、石原茉奈美、川島実佳
林道の整備・階段の敷設と補修、白銀道・弁天道周回見回りとマーク設置、ヒノキ林の剥皮間伐作業、須雲塾周辺の除伐・剪定作業



ヒノキの剥皮間伐



須雲塾周辺の強剪定と除伐作業

【平成 27 年度 秋semester】

- ・生物環境システム学科1年 生物環境実習Ⅱ 10/22
箱根自然観察林内のいくつかの林道を、班ごとにコースを設定して歩き、地形や植生を記録。教員は学生がコースを外れないように定点で待機。

【平成 27 年度 春期休暇】

- ・敷地境界の確認 1/19（下見）、3/20（立ち会い）
隣接する「畑宿生産森林組合」の敷地との境界立ち会い確認。
農学部 山崎 旬、管財課 梶本晋也、畑宿森林組合の組合員の方々（約10名）



立ち会い確認

【平成 28 年度 卒業研究論文等の課題】

なし

【平成 28 年度職員】

担当 山崎 旬